



2020.11月号

読解力を高めよう！

小学校の教科書や大学入試が変わる中で、「読解力」の重要性が高まっています。その一方で、学力に関する調査の中では、読解力が下がっているという指摘もあります。今、求められている読解力とは何か、どうすれば読解力を高められるのか、考えてみましょう。

①読解力って、どんな力？

読解力は、まとまった文章を読んでその意味を理解する、書き手の意図をつかみとる力といえます。しかし、最近ではグラフや図表など、文章の形ではないものから情報を読みとることや、読みとった情報を自分の意見に基づいて活用する力まで求められるようになり、新しくなった小学校の国語の教科書では、物語文や説明文の読み方などのほかに、ポスターや新聞、統計資料など、文章と文章以外の形でまとめられたものからの情報の読みとり方も取り上げられています。今年度から始まる新しい大学入試一大学入学共通テストの国語でも、文章と図表やグラフなどを組み合わせた出題が検討されています。

②読解力を高めるには？

■知らない言葉に出ったら、意味を調べて覚えよう

たとえば、夕方の時間帯を表す言葉には「夕暮れ」「日の入り」「黄昏（たそがれ）」などがあり、意味が少しずつ異なります。新しい言葉を覚えると文章をより深く理解することができ、ものを考える際の思考力も高まります。辞書を使い、言葉の意味・例文を調べる習慣をつけるとよいでしょう。

■要約をしよう

要約は、話の内容や書き手の主張を正しくつかむのに有効です。また、簡潔に人に伝えることができるようになります。段落ごとの関係や中心となる文を見つける練習をしましょう。

■文章を読んだあとの感想をまとめよう

「自分が感じたこと・考えたこと」をまとめる際にも、より深く文章を理解しようとするため、読解力が高まります。

■図表などが示す情報も整理しよう

文章と図表などがある場合は、何を示すものなのかをおさえ、文章と合わせて全体の情報を整理してみましょう。



音読すると発音や意味がわからない言葉がわかりやすいよ！
意味を考えながら、ゆっくりと読んでみよう♪

教科書で知らない言葉・知らない文章に出たら、読解力を高めるチャンスです！意味を調べ、要約したり感想をまとめることで、家庭学習に提出でき、一石二鳥です。実際に高まったかどうかは、定期的に学力テスト（道コン・月例テスト）で確認して、苦手なタイプの文章にもどんどんチャレンジするようにしましょう！



塾内テストのお知らせ

↓過去の情熱通信はこちらから！

11月 3日(火) 対象：小3～小6 四谷大塚全国統一小学生テスト

※Webから、または各教室へ直接、10/28(水)までにご連絡ください。

11月 7日(土) 対象：小4～中3 月例テスト11月号 (申込期限：10/24)

11月21日(土) 対象：中3 北海道学力コンクール (申込不要)



集中！

中学3年生の方々は、3月の受験に向けて模擬試験が増えてきます。そこで試験直前に簡単に集中力を高める方法をお伝えします。模擬試験の時から実施して慣れていくと、受験本番のときに絶大な効果を生み出すかもしれません。

その集中力を高める方法とは「1点を見つめる」だけです。天才打者イチローを思い出してみてください。打席に立った後、何をしていましたか？ルーチンワークとしてバットを回した後、一点を見つめています。大リーグで活躍している田中将大投手もピンチのときには、グローブの中にあるボールの縫い目をジッと見つめているようです。

試験開始直前の少しずつ緊張が高まってくるときに、シャープペンシルの先の1点をジッと見つめる。これだけで、集中力が高まる可能性があるかもしれません。

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 Tel 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

アメリカの満月

皆さんこんにちは！今回のテーマは満月です。満月には月ごとに様々な呼び名があり、今回はアメリカの農業暦のもととなったネイティブアメリカンが使っていたと言われている満月の名前をご紹介します。

1月：ウルフムーンWolf Moon (狼月)

真冬、食糧がなく飢えた狼の遠吠えにちなんだ名前を1月の満月に付けました。

2月：スノームーンSnow Moon (雪月)

北アメリカの2月は雪が多いことからスノームーン(雪月)という名前。ストームムーン(嵐月)やハンガームーン(飢餓月)などとも言われています。

3月：ワームムーンWorm Moon (芋虫月)

面白い名前です。春が始まる3月の満月はワームムーン(芋虫月)という名前がついています。日本の啓蟄と同じですね。あと4月以降は自分で調べてみてね。

釧路春採SC教室 安田 光則 Tel 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

備えあれば…

千葉県出身かつ、昨年度までは釧路に住んでおりました、雪が降ることに怯えている教室長です。教室前の駐車場にはロードヒーティングが入っているため、皆さんにご不便をかける面は少ないかと思いますが、生活のアドバイスを大募集中です。

さて、東京都内では3cmでも雪が積もると電車が動かなくなるのですが、これは通常積雪が少ないため、除雪の装備が無いことが原因のようです。年間何度あるかわからないことには備えきれない、という話を耳にしました。最悪自分たちで除ける、とも。

しかし勉強は別です。テストがいつあるのか、特にその後の人生にかかわる試験が何年後、何か月後に実施されるのかはわかります。そして備えるために長い時間が必要です。備えあれば憂いなし、ということで準備を進めていきましょう。私も靴を買ってきます！

当別教室 平山 由香利 Tel 0133-23-2228
〒061-0233 石狩郡当別町白樺町163-38 1F

敗れざる…

「敗れざる者たち」と「風立ちぬ」、前者は沢木耕太郎氏が執筆したノンフィクションの傑作。後者はジブリがアニメ化した堀辰雄氏の小説です(松田聖子さんの曲名でもあります)。ここで気になるのはその題名についてです。現代語であれば題名から受ける印象は、「敗れざる…」ってのは敗れ去ったの？負けたの？、「風立ちぬ」って風が立つってなに？…とは考えないにしろ、風は吹かないの？と思ってしまいがちです。これはあくまで現代語の感覚ならの話で、両題名を古語で見れば、「敗れざる者たち」は決して負けない者たち、「風立ちぬ」は(風が吹いた)とゆう意味になります。

古文は苦手、嫌い！とゆう人も身の回りの言葉に目を配ることで、古語由来の言葉を見つけ、そこから古文が少しだけ好きになるかもしれません。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 Tel 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

変化の大きい時代に

小学生の65%が将来今ない職業に就く……変化の大きいこの時代、小学生にとって重要な教科とは何でしょうか。私としては主要3教科の国数英こそがそれだと思います。これらはいずれも、どんな時代でも役立つ教科です。(言語能力の国英は言わずもがな、算数・数学は論理的思考力を養うために必要な教科です。)一方、小中学生の段階で「職業体験的な授業」、言い換えると「より専門的な授業」が比較的少ないのは、理にかなったことと言えます。なぜならそこで培った知識は、大人になる頃には使えなくなっている可能性があるからです。一見即戦力になりそうな知識ほど、時代の移り変わりの影響を受けやすく、一方で「基礎科目」と言われるものほどどんな時代でも有効な武器になりえると思います。※個人的には、プログラミングには賛成です。数学に似た教科だからです。

中標津教室 堀 正太 Tel 0153-74-0900
〒086-1007 標津郡中標津町東七条南7-8 2F

19のまま

若い頃からのバイク乗りの知人・友人。一人また、一人、バイクを降りたとの情報が伝わってきます。体力的にきつくなった。健康面の問題で、乗りたいくても乗られなくなった。若い頃は考えもしませんでした。が、「ああ、もうみんな、そんな年齢になったんだよね…」としみじみ実感することが増えました。取り回しが重く感じる。動体視力が衰えてきた。反射が一瞬遅れる。車を運転しているとなかなか実感できませんが、バイクだとそうしたことがすぐに分かります。加齢。認めたくありませんが、認めざるを得ません(苦笑)。～いつまでも忘れない 今でも目をこうして閉じれば19のままさ でも僕等 もう二度と あの日のきらめき この腕に取り戻せない～ 浜田省吾の歌の歌詞を思い出す昨今です。バイクはそろそろシーズンオフ。さて、筋トレでも始めようかな？

株式会社 情熱空間
代表取締役 三木 克敏